

日本学術会議 50 周年記念

日本学術会議経営管理工学専門委員会第15回シンポジウムのご案内

テーマ：「エンジニア資格制度と経営工学」

共 催 日本学術会議経営管理工学専門委員会
日本学術会議経営工学研究連絡委員会
(社)日本品質管理学会(JSQC)
(社)日本経営工学会(JIMA)
(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会 (ORSJ)
日本開発工学会(JDES)
日本信頼性学会(REAJ)
研究・技術計画学会(JSSPRM)
日本設備管理学会(SOPE-J)

(順不同)

このシンポジウムは、日本学術会議経営管理工学専門委員会がその構成メンバーである7学会の協力の下に開催するもので、今回はその第15回目に当たります。

専門知識はもとより外国語による表現能力なども備えた国際的に通用する技術者を育成するため、理工系大学を対象にした技術者教育の認定制度が発足しようとしています。その認定を行う日本技術者教育認定機構(JABEE)の設立も合意されつつあります。この機構は、技術者教育の質的要求水準が国際水準に達していることを、第三者が保証することを最大のねらいとしています。

一方、科学技術庁ではアジア太平洋経済協力会議(APEC)域内共通の技術者資格であるAPEC エンジニアの審査基準を検討中です。APEC エンジニアは、域内の経済・技術協力を促進するため、一定の能力を備えた技術者資格を相互承認する制度です。技術分野によっては、公共事業に対してその国で認められた資格がないと参加できない場合もあり、相互承認の必要性が高まっています。

既に欧米では、教育システムの認定やエンジニア資格制度が定着していますが、グローバル化の進展にともない日本でもこの制度の必要性が高まり、大いに注目を集めています。

このような制度が、大学教育や企業の採用、人材育成にどのような影響を及ぼすのでしょうか。今後の大学教育のあり方や技術者像はどうあるべきなのでしょう。認定制度に関してはISO 9000 や ISO 14000 において経営工学が主導的な役割を果たしてきましたが、認定制度のみならず、経営工学の立場から技術者の資格や要件を大いに議論すべき時期にあるといえます。

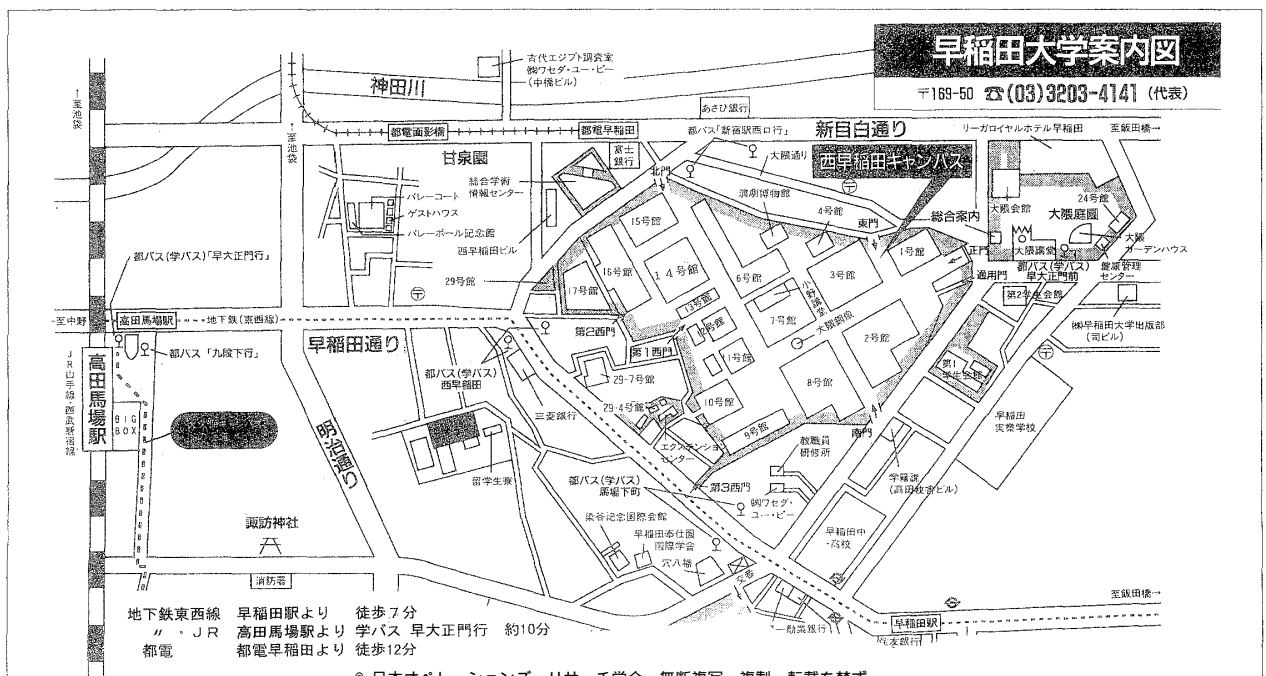
本シンポジウムは、この制度の全貌を把握し、経営工学界が何をなすべきかを明らかにするために、本制度に精通しておられる方々にご講演いただくことといたしました。この制度は、大学のみならず、産業界へも多大な影響をもたらすものでありますので、皆様方の積極的な参加をお待ちいたしております。

記

1. 日 時 1999年7月1日(木) 13:00~17:40
2. 会 場 早稲田大学大隈小講堂
3. 資料代 4,000円(学生 1,000円) 資料代は開催当日受付でお支払いください。
4. 定 員 200名(定員に達し次第締め切らせていただきます。)
5. 申込方法 別紙参加申込書に必要事項をご記入の上, 下記申込先に Fax または 郵送でお送りください。
6. 申 込 先 〒166-0003 杉並区高円寺南1-2-1 (財)日本科学技術連盟東高円寺ビル内
(株)日本品質管理学会事務局 Tel 03-5378-1506 Fax 03-5378-1507
ホームページURL: <http://jsqc.i-juse.co.jp/>
e-mail: jsqc@ca.mbn.or.jp (e-mailでの受付もいたします)
7. プログラム (講演タイトルは暫定的なものです。)

司会: 棟近 雅彦 (早稲田大学)

時 間	テ ー マ	発表者(敬称略)
13:00~13:10	開会の挨拶	久 米 均 (日本学術会議会員・中央大学教授)
13:10~14:10	特別講演(1) 「国の試験研究機関における 研究技術者の養成確保」	渡 辺 一 雄 (科学技術庁科学技術振興局 研究振興課課長)
14:10~15:10	特別講演(2) 「技術者資格と教育認定- 海外の現状と日本での動向」	大 中 逸 雄 (大阪大学 大学院工学研究科 教授)
15:10~15:30	休 憩	
15:30~16:30	特別講演(3) 「技術者教育認定制度と経営工学」	大 滝 厚 (明治大学 理工学部教授)
16:30~17:30	特別講演(4) 「企業から見たエンジニア資格制度」	桑 原 洋 (株)日立製作所 副社長)
17:30~17:40	閉会の挨拶	吉 澤 正 (日本品質管理学会 会長 筑波大学 教授)



日本学術会議 50周年記念
日本学術会議 経営管理工学専門委員会
第15回シンポジウム（1999年7月1日(木)）参加申込書

該当する箇所を○で囲むとともに、所要事項をご記入ください。

種別	所属学会	氏名	勤務先・部課名・大学学部学科名
一般学生			
一般学生			
一般学生			
一般学生			
一般学生			
連絡先 〒 (住所・勤務先)			
TEL.			FAX.
資料代 (一般 4,000円/人)			
” (学生 1,000円/人)		合計	円
備考	<ul style="list-style-type: none">・参加申込者にはFaxで参加券をお送りします。・定員に達し次第締め切りますので、お早めにお申込み下さい。・(社)日本品質管理学会 TEL (03) 5378-1506 FAX (03) 5378-1507		

問合せ先 各所属学会事務局まで

(社)日本品質管理学会	TEL. 03-5378-1506	FAX. 03-5378-1507
(社)日本経営工学会	TEL. 03-5814-5801	FAX. 03-5814-5820
(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会	TEL. 03-3815-3351	FAX. 03-3815-3352
日本開発工学会	TEL. 03-3352-6077	FAX. 03-3352-6087
日本信頼性学会	TEL. 03-5379-1235	FAX. 03-5379-1393
研究・技術計画学会	TEL. 03-5521-1741	FAX. 03-5521-1901
日本設備管理学会	TEL. 03-3435-9529	FAX. 03-3433-8665